

久万高原町
議会だより

第3号

2014年
11月



主な内容

平成26年9月定例議会 …… 2	産業建設常任委員会 …… 9
一般質問 …… 4~6	
総務文教厚生常任委員会 …… 7	

平成26年

9月定例議会

9月12日～9月19日

報告	専決処分	損害賠償に係る和解及び賠償額……………	3件他
議案	専決処分	一般会計補正予算……………	1件
	条例制定	子ども・子育て関連3法案成立にともなう条例……………	3件他
	決算認定	平成25年度一般会計他の決算の認定……………	3件
	補正予算	平成26年度一般会計他の補正予算……………	4件
	任命	教育委員の任命……………	1件
報告	平成25年度決算に基づく評価等……………		3件
発議	意見書	農業委員会制度、林業振興、新幹線導入等……………	4件

決算認定は決算特別委員会を設置・審査する事とし、他を可決、同意した。

■平成26年9月補正後予算額

総 額	151億5001万円	(2億9653万円増)
一般会計	91億4650万円	(2億4854万円増)
特別会計	46億7570万円	(4798万円増)
企業会計	13億2781万円	(増減なし)

平成26年9月の主な補正

歳入	地方交付税	3701万円
	国庫支出金	1098万円
	繰越金	1億189万円
	諸収入	4988万円 (道の駅販売収入を上方修正)
	町債	3722万円 (臨時財政対策債)
歳出	災害復旧費	3900万円
	町道橋梁点検業務委託料	1500万円
	林業経営支援補助金	1000万円
	林道舗装補修工事	2360万円
	道の駅事業に要する費用(上方修正)	5598万円
	久万商店街景観整備事業補助金	780万円

平成26年

7月臨時議会

7月15日

議案 損害賠償に係る和解及び賠償額の専決処分

一般会計補正予算……………3285万を追加

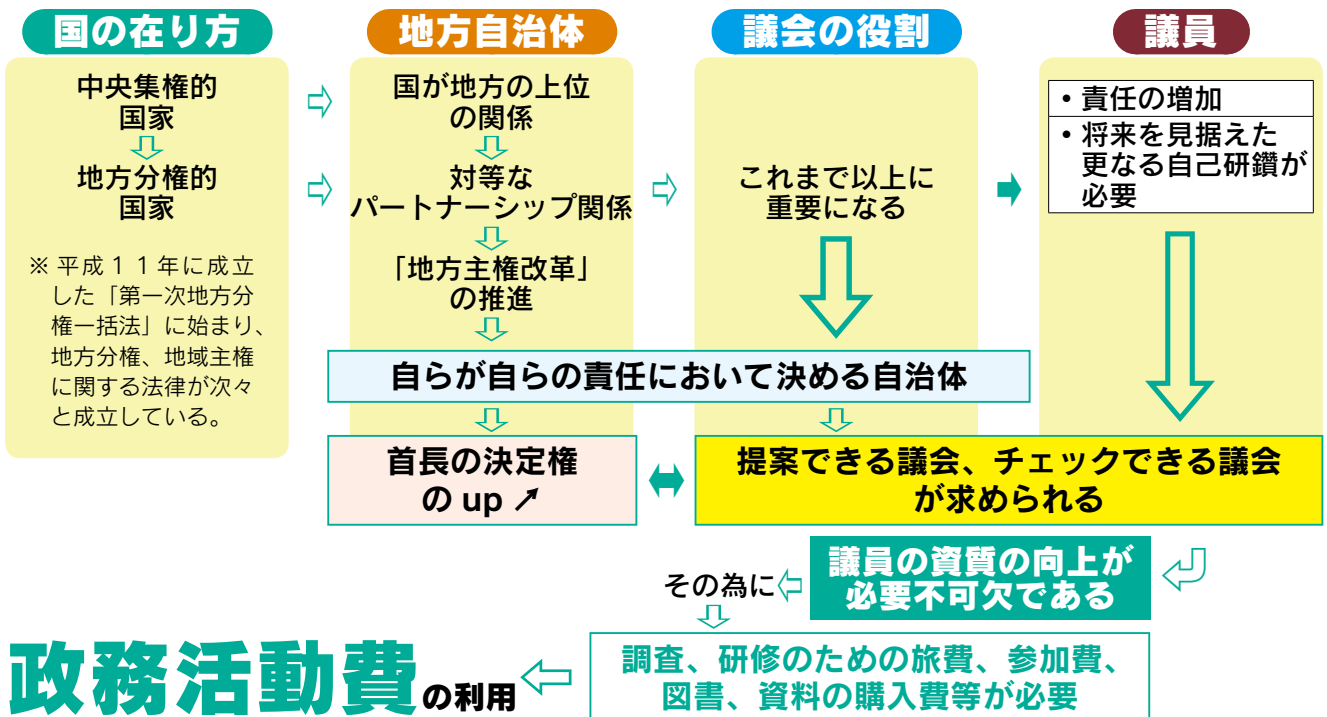
主な歳入	国庫支出金……………	1710万円増
	県支出金……………	500万円増
	繰越金……………	388万円増
	諸収入……………	1672万円増 (違約金)
主な歳出	林道関係……………	1360万円
	道の駅……………	407万円
	農道関係……………	1343万円

(株)いぶきの経営状況報告を受け、農業委員4人の推薦に同意した。

これからの久万高原町議会に 政務活動費は必要か!? 否か!?

皆さんは
どう思いますか?

何かと今、話題の「政務活動費」。条例で定めれば交付することができますが、交付している町村は全国で約20%です。「何に使うの?」「本当に必要なの?」などなど、いろいろ疑問もありましょうが、将来を見据えて久万高原町議会における「政務活動費の必要性」についての考え方をご紹介します。皆さんはどう思われますか?



一般質問

問

郷土愛を育む教育を

答

ふるさとを愛する心を
育てることが基本

日野教育長



高橋末廣議員

問

時代が進むことは、必ずいい
事だけでなく、グローバル化
の名のもとに、ともすると海外に目
がいき、あるいは都市にあこがれる
ことで、郷土を愛する事が薄れがち
では無いかと危惧している。
そこで二点質問する。

問

一 小中学校における国旗、
町旗、校旗の掲揚、あるいは
国歌、町歌、校歌の斉唱の基準は当
町の場合、どのようにしているのか
伺いたい。

答

教育委員会としては、国旗等
の掲揚、国歌等の斉唱にかか
る基準は特に定めていない。学習指
導要領の趣旨を踏まえ、各学校の慣
習や伝統に基づき、各中学校長の自主
的な判断で行っている。

入学式、卒業式及び中学校の少年
式においては、全ての小中学校で、
国旗、町旗、校旗の掲揚を行っている。
又、これらの三行事における国歌、
町歌、校歌の斉唱についても、ほと
んどの学校で実施している。

日野教育長



問

二 中学生における郷土愛を
育む教育として、どのような
機会が与えられているのか伺いたい。

答

各学校さまさまな取り組みを
しているので、五つぐらいに
分類して、答える。

(一) 地域の方々に講師を迎え、伝
統文化などを学び、発表する学
習。

(二) 生徒が地域に向向いて行う体
験学習。例えば宿泊体験、遠足、
登山、スキー学習、お茶摘み等。

(三) 町内の事業所で行う職場体験
学習。

(四) 地域で清掃や植樹などを行う
ボランティア活動。

(五) 山之内仰西など、地域の教材
を使つての道徳の学習。

このような学習機会を通して、ふ
るさとのよさに気づかせ、ふるさと
を愛する心を育てていきたい。

日野教育長

問

中学生になると、君が代と校
歌は歌っているようだが、町
歌を歌う機会は非常に少ない印象を
受けている。又、中学生の郷土愛を
育む教育としての機会の中で、本町
には上黒岩遺跡とか大除城など他町
に誇る史跡が有る。中学校になると、
そうした所に行き研究する機会が少
ないと思うが、大事な文化的、歴史
的資産は十分理解して、卒業できる
よう取り組んで頂きたい。

答

もし町歌が一度も小学校、中
学校で歌われないのは、大変、
問題があると思う。今後指導して行
きたい。

中学校の郷土愛を育む学習で、地
元の文化財に対する理解をもつと深
めてはという御意見、そのとおりだ
と思う。

ただ、現実には、中学校は学習も多
方面にわたるし、自主的な部活動も、
子供たちの大きな成長の機会に成っ
ている。

そういう中で、郷土愛を育む授業
を、郷土資料を使つて学習できるよ
う指導して行きたい。

日野教育長

問

年金受給者など高齢者の生活安定の方策を問う。

答

道の駅等への農産物出荷による収入確保がその一つである



中野克仁議員

問

現在、久万高原町における年金受給者は、そのほとんどが国民年金であると思う。国民年金の場合、月に使えるのは約4万円が現状であると思われるが、たちまち生活できる金額ではないのは一目瞭然である。高齢者の生活の安定に向けて、町として何かお考えがあるか、お伺いしたい。

答

本町で年金受給者の現状は、年金収入が80万円以下の方が2311名で、全体の50%を占めている。

そのうち50万円以下の方が972

名全体の21%である。

そのような中で、高齢者の生活の安定のための収入確保については、その一つが、生きがいづくりや、健康づくりにつながるために、道の駅「天空の郷さんさん」の農産物直販所や飲食店への農産物出荷である。道の駅への出荷者数は223名で65歳以上の方が100名、うち出荷システム利用者は75名、うち65歳以上が54名である。町として、金銭的な補助をだすのは難しいと思う中、一人が一日に1000円ずつでも出荷をしていただければ、1ヶ月に3万円ぐらいの収入があるのかなと思う。

高野 町長

問

年金プラスアルファの創出という意味では、道の駅は利用価値があり、必要なものになってきつつあるが、出荷する作物の季節、地域、種類等、きめ細かな計画が、さらに必要になってくると思われる。また小規模農地の管理、維持のためにも、少量高収益の作物の研究も必要であると思うが、この事について本気で取り組む考えがあるか。

答

農政課としては、道の駅対策として、高齢者対象に小規模ハウス導入事業、果樹振興対策として、苗木の補助、重量野菜から、軽量野菜としてピーマン、ミニトマトの振興、冬場対策として、豆類の振興を図っている。

加藤農政課長

問

道の駅をはじめ、各地区での観光客増加による経済効果も、少なからず、高齢者の生活安定につながる要因の一つではないかと考えるが、町内の観光施設、観光地が、まだそれぞれの点としてしか存在していない状況であると感じている。観光地、観光行事をつなげるというか、総合的広域的な視点で考えているかお伺いしたい。

答

林業まつりのPRとともに、これから始まる石鎚山、また面河溪の紅葉関係を、ラジオ等でPR活動をしている。また、四国カルストの従来になかったパンフレットを検討中である。

道の駅を核とした観光振興が見えないというが、担当課としては、各課との連携をもとに、観光振興に努力していると思っている。

小倉企画観光課長



道の駅出荷風景



問

若者の流出に歯止めをかける施策を問う

答

町の重要課題とし、有効な施策を進めたい



中川武志議員

問

少子高齢化で若者の流出に歯止めをかける施策について、いわゆる人口減少問題について伺いたい。更に、町独自の施策として、中学生までの医療費の無料化や定住促進宅地分譲の販売等を、若者定住の柱として取り組んでいるが、その事業の現状と見通し、新たな施策を展開していくことへの考えを伺いたい。

答

少子高齢化で久万高原町の人口も9300人余りになっており、高齢化率は45パーセントで26年後あたりには、4300人ぐらいの人口に成るうかと思う。

わが町は、農林業が基幹産業であり、農林業が良くなり、農産物がど

んどん売れるようなことに成り、こへ帰ってきて生活できるようになれば、Uターン、Iターンもあるかなと思っている。

また、民間の有識団体が人口減で、自治体の半数が将来消滅する可能性があるとの試算を、5月に発表した。地方自治体の関心は高く町としても、結婚、出産の祝い金、中学生までの医療費無料化、上浮穴高校への進学助成、農業研修者制度、若者定住促進宅地の分譲など、いろいろな事に取り組んでいる。

来年度からは、地域おこし協力隊員を2名採用し、地域おこしと共に定住を促進する事としている。また、交流人口を増加させ移住・定住につながる為に官民一体となって、魅力的な町を積極的に発信して行きたい。また、若者定住は町の重要課題との認識を共有して、今後も可能な限りその促進に努めると共に、国の動向に注視し、有効な施策があれば活用したいと考えている。

高野 町長

問

定住促進分譲地は5件契約済みという事だが、担当者に聞くと、モニターツアーも実施したり、いろいろな販売促進活動をしていると思うが、販売実績についての率直な思いはいかがか。

答

現在、5軒目の契約をしたが、今後はモニターツアーをして見学、視察を実施し宣伝しながら前向きに進めていきたい。

高野 町長

問

この事業の目的は、定住人口の増加を図ることだろうと認識しているが、通勤圏内に松山市を捉えたとした時に、提案として、生活が安定する3年ぐらいの期間を限定して、通勤助成をすると言うような販売条件の見直しも、一つの手ではないかと考えるがいかがか。

答

まだ早速にこれを緩和するよ

うなことは早いと思う。あと2年もしたら、緩和をして、久万高原町に住宅が無い方に住んでもらう。町から外に出ないように考えながら進めていきたい。

高野 町長

問

我が町に目を向けて見ると、若者の雇用の場がなく町外に流出して行く現状が有る。人口減少問題に特化したプロジェクトを発足させ、人口減少対策に積極的に関わっていくことも必要かと思うがいかがか。

答

我が町も空き家が増えている。人口が減っている中で久万高原町という住みやすい地域で農家をしたいと言う方が多いと聞くので、空き家に誘致し人口を増やしたいと思っている。

町も一生懸命頑張っているので、議員にも協力をお願いしたい。

高野 町長



若者定住促進分譲団地

総務文教厚生常任委員会

議案第102号 「久万高原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」

この条例は、平成24年8月に質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供、保育の量的拡大及び確保並びに地域における子ども・子育て支援の充実を図るため、子供・子育て関連3法が成立し、子供・子育ての新たな

制度が創設され、家庭的保育事業等を行う施設等の認可や運営の基準を町が条例で定めることとされていることから、町の監査に属する家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準について条例を制定するものである。

議案第103号 「久万高原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」

この条例も、平成24年8月に、子供・子育て関連3法が成立し、子供・子育ての新たな制度が創設され、町の認定を受けた特定教育・保育施設及び特定

地域型保育事業の運営に関する基準について条例で定めることとされていることから、条例を制定するものである。

議案第104号 「久万高原放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」

この条例も、平成24年8月に、子供・子育て関連3法が成立し、子供・子育ての新たな制度が創設され、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する

基準について条例で定めることとされていることから、条例を制定するものである。

議案第109号 「平成26年度久万高原町一般会計補正予算（第3号）」

予算の補正額は、

歳入歳出それぞれ、	記念事業費繰越金
2億4854万5千円	1億189万5千円
が追加され、総額は	
91億4650万2千円	道の駅収入など諸収入4988万8千円

歳入

地方交付税	町債3722万9千円
3701万2千円	

歳出の主なもの

河川総務費分担金など分担金および負担金	教育費
313万5千円	ラグビー場のスポーツトラクター購入費
	812万4千円

地域活性化、効果実

感臨時交付金などの国庫支出金	柳谷中学校閉校記念事業費補助金
1098万3千円	405万4千円

がけ崩れ防災対策事

業費補助金など県支出金738万4千円	イベント用テント・機購入費222万9千円
--------------------	----------------------



NIKONIKO館

美川中へ統合

柳谷中学校開校

審議

〈教育委員会〉

高橋委員

寮生が定数を超える
と聞くが教育委員会の
調査の状況を伺いたい。

高橋委員

行事が重なっている
場合が見受けられる、
日程調整については、
どのようになってい
るのか。

議案第110号 「平成26年度久万高原町介
護保険事業特別会計補正予算（第1号）」

予算の補正額

歳出

は、歳入歳出それぞれ、1472万3千円が追加され、総額は17億2573万円	介護給付費国庫負担金や支払基金交付金などの生産返還金
---------------------------------------	----------------------------

遠山事務局長

年度当初に計画して
いる。県の事業とダ
ブっていることも時々
見受けられる。検討し
ていく。

歳入

前年度繰越金 1462万4千円	認知症地域支援推進 員等設置事業に要する 費用122万7千円
--------------------	--------------------------------------

審議した結果、全員一致で「原案のとおり
可決すべきもの」と決定した。

高橋委員

若竹寮は人気がいい。
子供たちがくつろげる
場所などを整備し、希
望が可能になるように
早急な準備をお願いし
たい。



若竹寮



若竹寮



柳谷 幼・小・中学校

産業建設常任委員会

議案第109号 「平成26年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、2億4854万5千円が追加され、総額は91億4650万2千円

商工費

久万町商店街景観整備事業補助金780万円

土木費

町道橋梁点検委託業務1500万円

補正予算歳入の概要は、総務文教厚生常任委員長から報告があり省略する。

事1250万円

がけ崩れ防災対策工

歳出の主なもの

農林水産業費

林道舗装補修工事

2360万円

託料585万円

景観計画策定業務委託

1000万円

林業経営支援補助金

まちなか交流館の測

量設計委託料570万円

災害復旧費

林道崩土除去などの業務委託料280万円

夏秋野菜が安値

天候不順

審議

〔農政課〕

瀧野委員

トマト・ピーマンの

値段が安いと聞いている。新規就農者の経営

は厳しいと思うが調査したことはあるのか。

加藤農政課長

トマト60%台、ピーマン50%近く、大変厳しい状況である。指導

員による巡回はしてい

る。



瀧野委員

新規就農者は蓄えもなく経営的に厳しい。離農者が出た場合、手

助けする必要があるのであるか。

ある。

高野町長

ご意見はありがたい。災害など、どうにもならない時には考えなくてはならないが、調査は実施したい。

瀧野委員

農業もいろんな資金制度がある。新規就農者の把握をしながら取り組まなくてはならない、調査をして実施してもらいたい。

融資制度を利用していないのではないか。

返済しなくてはならないので少なめに借りている。

小川委員

静電防除機やハウスの建替えの補助は。

加藤農政課長

防除機や新たに面積を拡大する農家へは補助を実施している。

加藤農政課長

加工品を作り蓄えて、販売している人もいる。そういう指導もしてい

かなくてはならない。

加藤農政課長

新規就農者は、5年間無利子の融資制度が

加藤農政課長

新規就農者は、5年間無利子の融資制度が

新規就農者は、5年間無利子の融資制度が

久万高原町産材の推進

〈森林林業課〉

小川委員

林業経営支援補助金は個人に対してか。

が対象で、購入金額の20%以内、100万円を限度としている。

瀧野委員

木工機械の購入後の活用はしているのか。

管林業課長

道の駅や商店街の看板の作成、香織工房など町内の木工関係者が研修を受け使用していただく。

瀧野委員

県の会議では久万高原町産材の名札（会議時）が使用されている。

災害、インフラ 対策

〈建設課〉

中川委員

橋梁の点検計画や35橋は県に一括委託することとしているが、メリットはなにか。

高橋建設課長

5年に1回のサイクルで実施することとしている。県管理と町管理の橋梁を合わせることでにより移動時間の短

久万高原町産材の推進をすべきたと思うがどうか。

高野町長

町村会、議長会では使用している。これからも推進していかねければならない。

対策

縮、目視点検の際、橋梁点検車両が必要になるが四国全体で6〜7台しかない。一括発注することにより年度内に業務が終了できる。

西山委員

町道に水路がある、図面はどうなっているのか。

高橋建設課長

県からは道路台帳を



橋梁点検車両

引き継ぐが、細かく水路が入っている図面はない。町も台帳はあるが水路や暗渠はわからない。

高野町長

災害において町費でできる場合はすぐに実施できるが、大きな災

害は国の査定を受けて実施している。町は町の対応があるので、議員さんも建設課に連絡いただきたい。

瀧野委員

地域の要望については自治会長名で地域の議員が一緒になって推



進めることがいいのではないか。

中野委員

大雨により暗渠が詰まる案件が増えている

と思うがどうか。

て実施していく。

高橋建設課長

暗渠が詰まる場所もあるが、地域と協議し

異常気象を考慮した対応をお願いしたい。

中野委員

歳入の主なもの

279万4千円

一般会計繰入金

23万6千円

歳出の主なもの

施設等修繕費

前年度繰越金

300万円

議案第111号 「平成26年度久万高原町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）」

予算の補正額	前年度繰越金
は、歳入歳出それぞれ、3023万5千円	255万2千円
が追加され、総額は5億8296万3千円	一般会計繰入金
	168万3千円

歳入の主なもの

水道移転補助金

2600万円

歳出の主なもの

水道管支障移転工事

費2800万円

議案第112号 「平成26年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、303万円が追加され、総額は1億8952万4千円



水道管支障移転工事場所

審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの。」と決定した。

「ごみ処理施設を視察」

生活環境の保全に関する専門
委員会

松山市南クリーンセンター

㈱ロイヤルアイゼン

平成26年7月2日 参加15名

- ①松山市南クリーンセンター
- ②㈱ロイヤルアイゼン
(総合資源リサイクルセンター)



全連続燃焼式ストーカ炉3基で処理能力1日300トンです。現在は西クリーンセンターの稼働により、1基を休止し、2基を交互に使用しているために、実質1基の稼働状況の様です。

久万高原町の燃えるゴミ24年度2200tが25年度1900tに減少している。粗大ゴミ60tも南センターに処理を委託している。

松山市内の食品廃棄物と、木くず(剪定枝)で約半年かけて完熟堆肥を生産している。

久万高原町では、食品廃棄物の発生を抑える方法を、担当課で研究している。



「議員派遣」

平成26年度第1回町議会議員研修会

平成26年7月31日議員全員参加
メルパルク松山「ラファイーネ」

① 議会改革の取り組み事例の発表

〔中国地区〕 鳥取県北栄町議会

井上 信一郎 議長

議会基本条例 積極的な情報公開
議会だより・ライブ中継・議会報

告会

〔四国地区〕 高知県四万十町議会

宮地 章一 議長

議会基本条例の制定と「まちづく
り規本条例」との整合性

〔九州地区〕 熊本県御船町議会

岩田 重成 議長

議会基本条例の制定・通年議会の
開催

〔愛媛県〕 久万高原町議会

瀧野 志 議長

第80回町村広報研修会

議会改革特別委員会（選挙区制度
改革）
議国会報発刊・議国会報告会開催

② 南海地震に備えて 乃田 俊信

防災アドバイザー香川大学客員教
授

I 今、危機（災害）を考えよう

II 「南海地震」を知ろう

III 阪神・淡路大震災の教訓

IV 実行するのは、あなたです

平成26年7月10日11日2日間

東京都千代田区「シェーンパツハ・
サポー」会館

参加者 議会広報担当及び議長7名

これは議会活動に対する住民の関
心と理解を深めるための、議会広報
実務担当を対象にした、議会広報の
発展が目的。

第一日

広報誌編集にはさまざまな考え方
や方法があり、読まれる広報誌の条
件を研究して、編集に反映していく。

第二日

I 八つの、项目的に沿った企画・
編集になっていく。

II よみやすさ、わかりやすさへの
編集技術等について。



久万高原町議会委員会一覧表

区分	委員会名	委員氏名 ◎委員長 ○副委員長	担当部門・内容等
常任委員会	総務文教厚生 常任委員会	◎ 玉井 春鬼 ○ 田村 昭子 高橋 末廣 長山 淳志 上岡 正文 川崎 勝弘 瀧野 志	総務、住民・保健福祉課、教育委員会、町立病院、あけぼのささゆり荘、消防、分譲宅地造成等の各事業を担当
	産業建設 常任委員会	◎ 中野 克仁 ○ 日野 明勅 上沖 教一 山之内 敏秋 小川 光雄 西山 清一 中川 武志	建設・企画観光・農政、森林林業・環境整備課、上下水道、農業集落排水、簡易水道、凶荒予備等の各事業を担当
議会運営 委員会	議会運営 委員会	◎ 小川 光雄 ○ 高橋 末廣 玉井 春鬼 上沖 教一 中野 克仁 西山 清一 中川 武志	15 ページ委員会の種類（2）をお読みください
特別委員会	決算 特別委員会	◎ 高橋 末廣 ○ 上沖 教一 田村 昭子 日野 明勅 小川 光雄 西山 清一 中川 武志	平成 25 年度決算を審査し、これを認定する。予算審議と財政運営の批判と指導に役立てる。財政民主化。
	議会改革 特別委員会	◎ 中川 武志 ○ 高橋 末廣 田村 昭子 玉井 春鬼 日野 明勅 中野 克仁 瀧野 志	議会報告会を実施して住民の皆様により身近な議会を目指す。議会基本条例について検討中。
	議会会報 特別委員会	◎ 中野 克仁 ○ 川崎 勝弘 長山 淳志 上沖 教一 上岡 正文 山之内 敏秋 西山 清一	「議会だより」の企画、作成、発行を通してより身近な議会を目指す。

委員会制度はなぜあるか

議会は、議員全員が一堂に会してすべての議案を審議するのが理想ですが、議員数が多いと質疑だけでも時間が必要となるし、案件が増加し、内容も複雑になるにつれて、詳細な審議を尽くすことが困難になってしまいます。

議会の運営が形式的になったり、行政が多様化、専門化してくると、本会議のみでは、とうてい多数の議案を能率的に処理することは不可能になっていくし、議員もまた、そのすべてに通じることは困難になってしまいます。

委員会制度は、このような欠陥を補完して、審議の実を挙げるため工夫されたもので、それぞれ専門部門別に審査を分担するものです。

委員会の種類

(1) 常任委員会

常任委員会は、その部門に属する町村の事務に関する調査を行い、議案陳情を審査する機関。他に請願、議員の資格決定、懲罰の審査も行なう。久万高原町には、「総務文教厚生常任委員会」「産業建設常任委員会」がある。

(2) 議会運営委員会

議会運営委員会の権限は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項について、調査を行なうこと、議案、陳情等の審査を行なうことである。

議会前には必ず委員会を開き、議会の円滑で効率的な運営のための答申を議長に行なう。

(3) 特別委員会

特別委員会は、臨時特定の事件について設置される。

予算、決算、基本構想案等の審査や、地域開発対策等の調査のために設けている例が多い。

久万高原町には現在「決算特別委員会」「議会改革特別委員会」「議会会報特別委員会」がある。

議会を傍聴しませんか?!

12月定例会 (予定) 12月8日 (月) 開会日・一般質問等
12月9日 (火) 総務文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
12月12日 (金) 閉会日

本会議も常任委員会も傍聴できます!

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL・FAX0892 - 21 - 0134

議会だより・議会報告会についてのご意見ありませんか?



議会だよりに
○○○なコーナーが
あればなあ～

議会報告会で
あんな事
聞きたいなあ～

議会だより
こうすればもっと
見やすいのに!

「議会だより」も「議会報告会」も住民の皆様は議会をもっと身近に感じていただき、その声を議会活動に生かすべく発刊、開催しているものです。皆様のご意見・ご指導をよろしくお願いいたします。

ご意見等の送付先 (郵便又は FAX)

久万高原町 議会事務局 宛

住所 久万高原町久万 188

FAX 0892 - 21 - 0134

※ ご意見等には御住所、御氏名を明記してください。

編集後記

先日の議会報告会で、議会だよりについて、たくさんのご意見をいただきました。皆さんに、読んていただいたているという実感がわいてきて、うれしさ反面、責任の重さも感じた次第です。

議会報告会と議会だより、この活動を通して皆さんと一緒に歩む議会に近づけばと思います。

皆さんの色々な声を議会だよりでとりあげる様な企画も考えていますので、お気軽に上記までご連絡下されば幸いです。

(中野)

久万高原町議会だより 第3号 平成26年11月19日

発行/久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 188
発行責任者/町議会議長 瀧野 志

編集/議会広報特別委員会
TEL0892 (21) 0134 FAX0892 (21) 0134
印刷/明星印刷工業株式会社